

京都市都心部のまちなみ保全・再生に係る審議会

第6回審議会資料

委員意見集

平成14年2月6日

審議会提言にむけた意見書

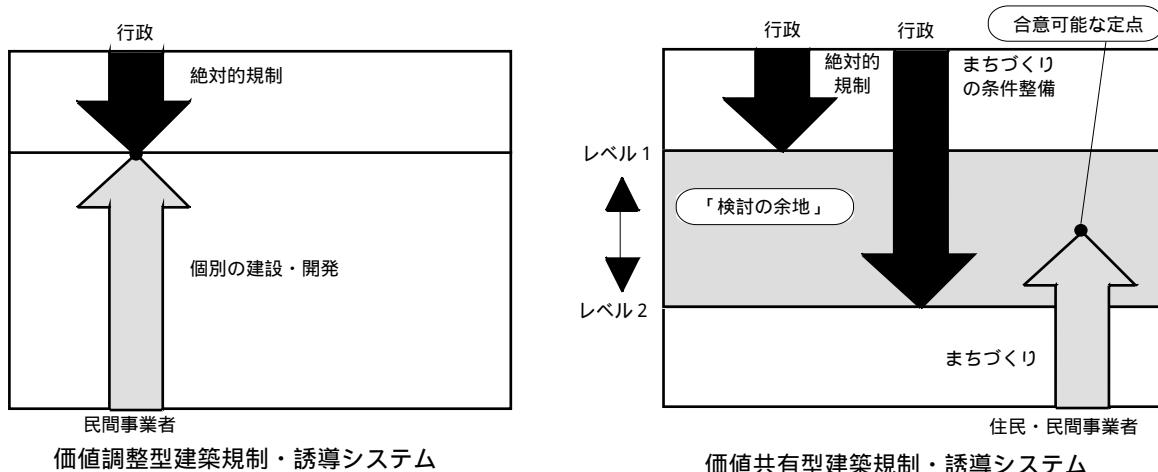
2002年1月21日
高田光雄（京都大学）

：緊急施策として提言

（1）価値共有型建築規制・誘導システムの実施

- ・単純なダウンゾーニング（利害調整）を超えた価値共有型建築規制・誘導システムの実現

- ・レベル1（絶対的規制）：現行法規制 将来：地区計画
- ・レベル2（まちづくりの条件整備）：高度15m（中低層建築物の上限）
- ・合意形成システム：（仮称）建築物の地域まちづくり適合性に関する審査会
- ・審査項目：街区の居住環境への配慮
 - 通り景観への配慮
 - まちの活性化への配慮（特に低層部の機能）
 - 地域コミュニティ形成への配慮
 - 上記以外の特別の配慮



（2）地域のまちづくり活動支援の強化

- ・コミュニティ・エンパワーメント・プログラムの策定
- ・コンサルタント派遣の強化（地区担当制）一部
- ・地区まちづくりプログラム支援（セミナー、見学会、ワークショップ等）一部
- ・京都市景観・まちづくりセンターの強化
- ・まちづくり教育の支援（京都府建築士会の活動）
- ・大学・大学院教育（専門家養成）との連携

（3）準防火地域指定の見直し

- ・景観形成型（コミュニティ連動型）防火地域制の実施
- （室崎益輝神大教授：歴史的景観地区/地区計画/デザインガイド/住民合意が条件）
- ・実施に向けた検討委員会の設置